

ゆあさ 議会だより

令和5年8月発行 No.91

発行：和歌山県湯浅町議会
 編集：議会広報編集常任委員会
 住所：〒643-0002
 有田郡湯浅町大字青木668-1
 TEL 0737-64-1118
 FAX 0737-62-4450
 URL：https://www.town.yuasa.wakayama.jp/
 e-mail：gikai@town.yuasa.lg.jp



みつはただお
三ツ橋忠男議員

いたがきよしお
板垣善夫議員

まつもとこうせい
松本光成議員

やまもととしあき
山本年哲議員

よこやまさあき
横矢政明議長

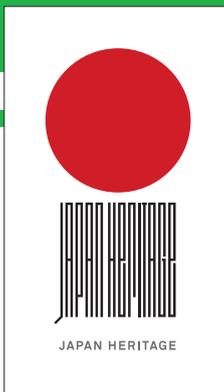
ゆらしろうじ
田良祥治議員

ひさずみけん
久澄顕人議員

いしもとかずや
石本一也副議長

あかいようこ
赤井洋子議員

まつもとのりひさ
松本典久議員



表紙

4月改選後、初めての臨時会開催
 (令和5年5月10日)

～目次～

〈5月臨時会〉	■ 新しい議会構成	2～3
	■ 全員協議会	4
〈6月定例会〉	■ 全員協議会・賛否表	5～8
	■ 一般質問(5人が登壇)	9～13
	■ 編集後記	14

5月臨時会



新しい議会構成

4月23日に湯浅町議会議員一般選挙が執行され、改選後、5月10日に第1回湯浅町議会臨時会を開催しました。議長・副議長と各常任委員会の構成、一部事務組合議会等への派遣議員をそれぞれ決定しました。

また、臨時会に提案・報告された条例改正、補正予算など議案2件、議報8件を原案どおり可決・承認しました。



議長
横矢 政明

町民の皆さまには、日頃より本議会に対して温かいご支援・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

5月10日の臨時議会で議長に選出頂き就任いたしました。

新型コロナウイルス感染症の法律上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類感染症に変更となり、「アフターコロナ」社会に移行しつつあります。また、6月2日の梅雨前線の影響による豪雨では、本町で1時間当たりの降水量が観測史上最大を記録するなど、過去にはない新たな課題への対応が求められる時代を迎えていることと感じます。



本議会といたしまして、これからも防災施策・福祉行政の充実、人口減少・少子高齢化、観光振興など様々な問題に議員一丸となって取り組んでまいります。町民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



副議長
石本 一也

このたび議員各位からご推挙により副議長に就任いたしました。感謝の気持ちと共に責任の重大さを痛感する次第です。微力ではありますが、議長と力を合わせ本町の課題に全力で取り組んでいく所存であります。

また、議会運営について新たな議会構成で、議員一同のご協力のもと、議長をサポートしながら町当局との橋渡しに努め、充実した議会活動を目指していきたいと思います。今後とも町民の皆さまの尚一層のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

議会運営委員会

委員長 松本 光成
副委員長 松本 典久
委員 赤井 洋子
三ツ橋忠男

総務文教まちづくり常任委員会

委員長 松本 光成
副委員長 山本 年哲
委員 赤井 洋子
久澄 顕人
横矢 政明

福祉産業建設人権常任委員会

委員長 三ツ橋忠男
副委員長 板垣 善夫
委員 石本 一也
由良 祥治
松本 典久

議会広報編集常任委員会

委員長 久澄 顕人
副委員長 赤井 洋子
委員 山本 年哲
三ツ橋忠男
由良 祥治

一部事務組合議会への派遣

有田周辺広域圏事務組合議会

潮光園・環境センター・休日急患センター等の事業について審議する、有田市、湯浅町、広川町、有田川町議会から各3名、合計12名で構成される議会です。

派遣議員 松本 光成
松本 典久
横矢 政明

有田郡老人福祉施設事務組合議会

なぎ園の事業について審議する、湯浅町、広川町、有田川町議会から各3名、合計9名で構成される議会です。

派遣議員 久澄 顕人
山本 年哲
板垣 善夫

有田衛生施設事務組合議会

ごみ・し尿処理事業について審議する、湯浅町、広川町議会から各3名、合計6名で構成される議会です。

派遣議員 石本 一也
三ツ橋忠男
由良 祥治

湯浅広川消防組合議会

消防事業について審議する、湯浅町、広川町議会から各3名、及び両町の消防団長各1名、合計8名で構成される議会です。

派遣議員 松本 光成
由良 祥治
松本 典久

和歌山県後期高齢者医療広域連合議会

後期高齢者医療の事業を審議する、県内の市町村議会から各1名（和歌山市のみ2名）、合計31名で構成される議会です。

派遣議員 赤井 洋子

トピックス

5月23日(火) 東京国際フォーラムにおいて開催されました「町村議会議長・副議長研修会」に横矢議長、石本副議長が参加しました。研修会では大正大学社会共学生学部教授 江藤俊昭氏をはじめとする3名の講師による講義を聴講し、町村議会のあり方について学びました。



講演会



全員協議会

主な条例制定

○税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴う個人住民税における森林環境税の導入、軽自動車税グリーン化特例の適用期限令和7年度末までの延長を主な内容とするものです。

○都市計画税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い項のずれ等を改正するものです。

○国民健康保険条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴う後期高齢者支援金分における課税限度額の2万円引き上げ及び減額の判定基準となる所得の拡充を主な内容とするものです。

問 今回の限度額引き上げで影響を受ける世帯数はどれくらいか。

答

令和4年度で限度額を超えている世帯が43世帯です。その中には今回の限度額引き上げの対象となる方も含まれるかと思えます。

令和4年度 一般会計補正予算

(単位：万円)

項目	補正額	主な歳出の説明	補正後の額
一般会計	△1億3,965	老人入所施設措置費、長期資金償還利子等減額	113億4,129

令和4年度 特別会計補正予算

項目	補正額	主な歳出の説明	補正後の額
駐車場事業	474	駐車場事業基金積立金	882
国民健康保険	△6,000	一般被保険者療養給付費減額	17億3,481

令和5年度 一般会計補正予算

項目	補正額	主な歳出の説明	補正後の額
一般会計	1億2,708	子育て世帯生活支援特別給付金、湯浅クーポン事業費	109億5,077

一般会計予算

問

ふるさと納税により基金が年々積み上がっている中で、人口減少や少子化は進んでいる。インパクトのある施策を打ちだし、減少に歯止めをかけるなど、この基金を有効に活用する大局的な方針が必要ではないか。

答

今後色々なハード事業が控えている中で、基金をどう活用していくか等、方針を考えながら進めて行きたいと思えます。

問

ふるさと納税制度がなくなつたとき、町財政に多大な影響が出ることを考え、湯浅町として自主財源を作っていくための将来展望が必要ではないか。

答

いかにして自主財源を確保していくかを考えていきたいと思えます。また、ふるさと納税で頑張り、財源が集まれば、少子化対策等に反映していけるかと思えます。



6月定例会



令和5年第2回定例会を6月6日から16日までの日程で開催しました。本定例会に提案された人事案件、一般会計補正予算など、提案された諮問1件、議案13件、報告2件、発委1件を原案の通り可決・承認しました。また、開会に先立ち、県町村議長会の役員として地方自治の発展に寄与した議員に贈られる、和歌山県町村議会議長会特別功労者表彰を受けられた横矢政明議長、松本典久議員への表彰伝達式が行われました。



表彰伝達式

全員協議会

人事案件

○人権擁護委員候補者推薦につき意見を求める件

引き続き、中尾一平氏を適任と答申しました。

○監査委員の選任同意

引き続き、松本光成氏の選任に同意しました。

○農業委員会委員の任命同意

引き続き、山崎明氏、竹中健時氏、岡本善樹氏、松本典久氏を、また、新たに武内啓和氏、前田眞作氏、蜂谷典生氏、森加代子氏、北野万知子氏の全9名を任命することに同意しました。

主な条例等制定

○都市公園条例の一部改正

地域福祉センター前に新たな公園として「方津戸コミュニティ広場」を9月1日から開設するための一部改正です。

問 方津戸公園はそのまま維持管理を続けていくのか。

答 現在のままの公園として維持管理していく予定です。

問 条例では町内に公園はいくつあるのか。

答 方津戸、宮西、なぎ、御茶殿の4か所です。

問 条例にない小さな公園については廃止し、より有効な活用方法を検討してはどうか。

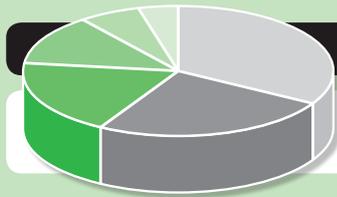
答 地元区長とも協議しながら検討したいと思います。

○議会傍聴規則の一部改正

社会の実情に合わせ、傍聴時の議場への携帯電話持込みの制限を撤廃するものです。



吉川山崎地区急傾斜地崩壊対策工事	1億609万円
タウンプロモーション業務委託	1,650万円
ふるさと・観光PR業務委託	935万円
価格高騰重点支援給付金	6,300万円
町道山田47号線道路法面崩壊対策工事	5,300万円



令和5年度 一般会計補正予算

3億241万円

(単位：万円)

項目	補正額	主な歳出の説明	補正後の額
総務費	1億3,625	吉川山崎地区急傾斜地崩壊対策工事、タウンプロモーション事務委託	39億9,796
民生費	1億400	価格高騰重点支援給付金	23億8,679
土木費	5,323	町道山田47号線道路法面崩壊対策工事	13億3,146
消防費	83	コミュニティ助成事業	4億8,282
教育費	811	小中学校光熱水費	7億6,731
歳出合計	3億241		112億5,318

※1 補正後の歳出合計は補正されていない項目も含めています。

※2 千円単位を四捨五入しているため、合計に差が生じる場合があります。

一般会計予算

問 コミュニティ助成事業で購入する発電機と蓄電池、ワントッチテントの規模は。また、普段はどのように管理するのか。

答 ポータブル発電機・蓄電池は約10kgの重さで、40～50cmの箱で、ワントッチテントは3m×3mの大きさです。管理については、その地域の自主防災組織にお任せしています。

問 現在、女性の消防団員は何人いるのか。

答 2名です。

要望 もっと女性消防団員を増やす取組みをして欲しい。

問 町内の自主防災組織の現況は。

答 47地区中、41地区で組織されています。

県立博物館へ行きました！

議会会期中、6月9日(金)和歌山県立博物館にて開催された特別展「きのくにの小浪華 湯浅ゆかりの文人の書画」の視察研修を行いました。学芸員の説明を受け、菊池海荘をはじめ江戸時代、紀伊国有数の商業都市として栄えた湯浅にゆかりのある文人たちの書画を中心にふるさとの歴史を学びました。



和歌山県立博物館にて

地域おこし協力隊の方と懇談しました！

6月16日(金)に、都市から本町に移住し、地場産品の開発等の地域協力活動を行う、湯浅町初の地域おこし協力隊員、前口あかね氏、山中紺名氏をお招きし、本町について感じたこと、活性化のために考えていること等について懇談しました。



地域おこし協力隊の方と

栖原海岸清掃に参加しました！

6月24日(土)に行われた、栖原海岸清掃に町議会議員が参加しました。多くの参加者と協力し、きれいな砂浜、海岸を守るため、作業に取り組みました。



栖原海岸清掃



要望書等

6月定例会において、町議会に対し提出された次の陳情書等につき、写しを全議員に配布しました。

- 国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書
- 全国霊感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情
- 森林環境税の譲与基準の見直しを求める意見書の採択を求める要請



5月臨時会

審議結果	議案名等	赤井 洋子	久澄 顕人	松本 光成	石本 一也	山本 年哲	板垣 善夫	三ツ橋忠男	由良 祥治	横矢 政明	松本 典久
承認	専決処分の承認を求める件〔税条例の一部改正〕	○	○	○	○	○	○	○	○		○
承認	専決処分の承認を求める件〔都市計画税条例の一部改正〕	○	○	○	○	○	○	○	○		○
承認	専決処分の承認を求める件〔国民健康保険税条例の一部改正〕	○	●	○	○	○	○	○	○		○
承認	専決処分の承認を求める件〔家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正〕	○	○	○	○	○	○	○	○		○
承認	専決処分の承認を求める件〔特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正〕	○	○	○	○	○	○	○	○		○
承認	専決処分の承認を求める件〔令和4年度一般会計補正予算(第8号)〕	○	○	○	○	○	○	○	○		○
承認	専決処分の承認を求める件〔令和4年度駐車場事業会計補正予算(第1号)〕	○	○	○	○	○	○	○	○		○
承認	専決処分の承認を求める件〔令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)〕	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	工事請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	令和5年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○		○

6月定例会

適任	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求める件(1名)	○	○	○	○	○	○	○	○		○
同意	監査委員選任の同意を求める件(1名)	○	○	-	○	○	○	○	○		○
同意	農業委員会委員任命の同意を求める件(8名)	○	○	○	○	○	○	○	○		○
同意	農業委員会委員任命の同意を求める件(1名)	○	○	○	○	○	○	○	○		-
可決	都市公園条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	工事請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	令和5年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	議会傍聴規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○		○

(注) 横矢政明議員は議長のため、裁決に加わらない。○は賛成、●は反対、-は退席(除斥議案)





久澄 顕人 議員

①災害対策について

②国民健康保険事業について

質問①

6月2日豪雨による被害状況は。

答弁（総務課長）

床上・床下併せて100軒以上の浸水被害、農地災害は被災件数が多く、一日も早い被災地の特定を行い復旧に努めます。

再質問

豪雨当日、町民からどのような要請が寄せられたか。

答弁（総務課長）

浸水対策のための土嚢支援が最も多く、役場・町内業者の保有分全てを使用して不足しました。対応は職員だけでは人手が足らず、消防団に出勤を要請しました。

要望

各地域に自主管理できる土嚢ステーションの設置を。

再質問

町内各所の排水対策の進捗、今後の対策は。

答弁（産業建設課長）

栖原ポンプ場は令和8年度完成、三味川の改修が令和

10年度予定。今回の豪雨で浸水したチチコ川水系、出合川水系、その他町内の浸水箇所

を事業計画に位置づけ、排水

対策に取り組みます。

被害状況の把握、各区の

要望を聞き取り、排水対策

の予算確保を要望します。

側溝や水路の清掃困難箇所

について、各区に要望を聞き

取り、町の方で柔軟に対応し

て頂きたい。

豪雨で被災した世帯に対

し、見舞金以外の独自支援金

を出す考えは。また税・保険料

の減免対応についても問う。

税や保険料については条

例で減免等について規定し

ており、納付が困難な場合は

関係課へ相談いただければ

と思います。

独自の支援金について、他

市町村では被災者生活再建

支援法が適用される場合に

上乗せする形で支給されて

いますが、今後検討します。

災害対策全般の今後の取

り組みは。

自分の身を守る「自助」

住民で助け合う「共助」の促

進、防災を考える啓発を行っ

ていきます。

県から示されている令和

9年度の国保税統一化の進

捗状況は。

各市町村の医療費水準、賦

課方式、徴収率の違い等の課

題があり、令和9年度の統一

化は実施困難な状況と把握

しています。

国保会計の決算状況、税

の徴収率は。

令和4年度決算見込で基

金残高が4億5312万円、

単年度収支で3437万円の

基金取り崩しが必要であり、

徴収率は県平均を上回って

います。

県内自治体でも実施して

いる子ども均等割を18歳

まで軽減する制度の実施を。

県全体の取組等への協議

のなかで研究します。

がん検診の受診率と受診

率向上の取り組みは。

町の実施検診全てにおい

て、県平均・全国平均より受

診率が高くなっています。

クーポンの送付、広報やホー

ムページでの周知、健康推進

員による声かけ、街頭啓発な

どを行っています。

がん検診推進員の配置、

がん対策推進条例の制定、

講演会・学習会の実施、ハガ

キや電話による受診勧奨の

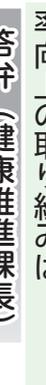
徹底など、町をあげて受診

率向上に取組んで欲しい。

9

ゆあさ議会だより No.91

令和5年8月1日



安心安全なまちづくりについて



石本 一也 議員

- ① 6月2日の災害対応
- ② 同和問題解決に向けた協議体の設置
- ③ 本人通知制度
- ④ 町職員の採用方法
- ⑤ 町内の交通手段

質問 ①

6月2日の豪雨は、記録的なもので対応に苦慮されたところもあったかと思いますが、当局の対応について総合的な答弁を。

答弁 (副町長)

体制の確保や人員配置、避難場所開設と避難情報の発令について問題なく実施できたと考えています。観測史上最大の豪雨で町内の水路が大量の雨を処理できず溢れ、浸水への対応要請が多数あり、消防団にもご協力頂き最大限の対応に努めました。現場への往復が予想以上にかかるなど、公助だけでは対処し切れませんでした。

今後、公助はもちろん自助・共助についても強化を図る支援策を平常時からしていかなければならないと感じています。

要望

町としての対策だけでなく河川や県道の課題についても県・国に対してしっかりと

と要望して頂きたい。

質問 ②

同和問題は100年経っても解決していない根強い問題であり、解決に向けた取組を実施するに当たり、一部の職員や関係者が議論するだけでは駄目だと思えます。

今後、部落差別解消推進基本計画の作成や、総合センターの建替えなど、様々な協議が必要となってくる、そんなときこそ協議体が必要ではないでしょうか。前回の質問からの進捗状況を。

答弁 (町長)

部落差別解消推進基本計画策定の進捗を鑑みながら協議体の設置を検討したいと思えます。

質問 ③

これまで要望していた人権問題に関わる重要な施策である、事前登録不要本人通知制度について現在の進捗状況は。

答弁 (町長)

現在、登録不要型本人通知

制度実施に向けてシステム業者と詳細な協議を行っています。

再質問

時期はいつ頃になりますか。

答弁 (住民生活課長)

来年度から実施していきたいと考えています。

質問 ④

職員採用は、ふるさと湯浅に愛着があり、有事の際にも、すぐ現場に駆けつけることができる地元の人間の採用を最優先に考えて欲しいと思います。職員採用方法についての考え方は。

答弁 (総務課長)

受験者を総合的に評価することで人物重視の採用を行うっており、より優秀な人材を確保できるよう取組んでいきたいと考えています。

質問 ⑤

以前、町内のコミュニティバスなどを整備し、高齢者が免許を返納しやすい仕組みづくりの検討をお願いしました。また、町内のタク

シー会社の撤退により、町民のみならず、観光に訪れた方も交通手段がないため、補助金の検討についてもお願いしたところですが、その後の進捗状況は。

答弁 (副町長)

地域公共交通会議等の整備をまちづくり施策の一環として、有識者の意見を取り入れながら積極的に進めていきたいと考えています。

再質問

スケジュールとしてはどのようになるのか。

答弁 (副町長)

今年度中を目途に早急に立ち上げるよう考えていきます。





赤井 洋子 議員

湯浅町の選挙人への投票機会の拡大

期日前移動投票車両等の導入について

質問

今年4月に行われた湯浅町議会選挙で、強く感じたことを改善したく質問します。今回は2019年より、投票率は約5%、投票者数は約1000人少なくなり、下がった要因の一つに、高齢化の影響もあります。

高齢者や障がいのある方が、投票に行くことがますます困難になります。その後、全国各地で期日前移動投票車両が活躍していることを知り、これを導入できれば、高齢になり、歩くのがつらい方にも、家の近くに投票所が来ることで体の負担が少なく、一人の町民として、一票の権利を行使できます。移動投票所の導入を考えていただきたく質問します。

ある県では、地域内の高校にも出向いて、選挙権のある高校生に投票を促しています。対象者は少数ですが、高校生が選挙に目を向け、他

の生徒への啓発につながるのではないかと期待できるがその考えは。

答弁(選挙管理委員会書記長)

湯浅町の高齢者の投票率は若年層の投票率と比較すると高い傾向にあります。

移動期日前投票所は、一般的に面積の広い地域で、移動困難な山間部や投票所が激減した自治体で多く導入している傾向にあり、湯浅町は面積約20km²と比較的狭小で、投票所を町内11か所設けていること、移動期日前投票所の導入に代えて、湯浅駅から役場までの路線バス無料券配布の移動支援という形で、投票所への便宜を図っています。

投票所に行くことができない方については、郵便投票や不在者投票といった既存の制度の周知を行っております。

若年層に対しましては、県立高校への選挙出前講座

の実施について県へ要望するなど、投票率の向上に向け取り組みます。

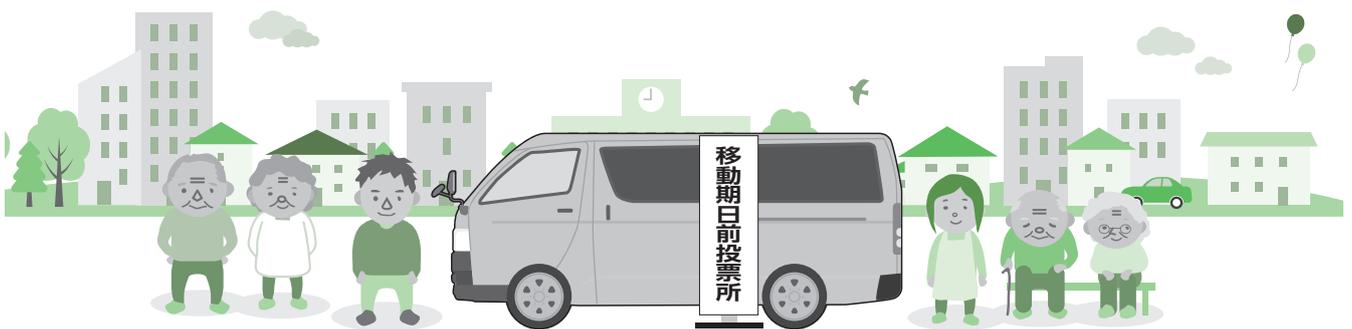
今後も高齢化率の上昇に伴う社会の変化に対応するべく、移動期日前投票所の導入も視野に入れながら、投票率の維持、向上のため、に必要な支援策について、検討を重ねてまいります。

要望

行政の取組みの中で駅から役場まで無料のバスがあるということですが、駅に行けるくらい元気な方であれば投票所にも行けると思います。

郵便投票などもあります。が、制約が厳しいので該当する人は少数です。テントでの投票も、周囲の音が入る場所での投票は禁止されているということですが。

気象条件なども考慮し、やはり車両での移動投票所の実現を是非、前向きに検討をお願いします。





三ツ橋 忠男 議員

- ①有害獣対策について
- ②温州みかんの新品種について
- ③産廃型バイオマス発電について
- ④6月2日水害について

質問①

国道より東側の農地ではシカの被害が多く、農業者は金属メッシュ等の防護柵で対策をしているが、現状の県事業では農家の負担が大きくなっている。現在の被害状況と今後の事業拡大は。

答弁（産業建設課長）

今後は、シカの被害状況を確認・研究し、県事業の支援拡大の要望も含め対策を検討します。

要望

防護柵の設置だけでなく、銃猟の人材確保、猟友会の体制整備、捕獲報奨金の増額等いろんな方面で支援をお願いします。

質問②

役場近くで新しい温州みかん（申請名…あおさん）が発見されました。晩生みかんでありながら果皮などは薄く、早生みかんの食感で、味が優れているという

特徴があります。「あおさん」の現在の状況は。

答弁（産業建設課長）

優れた特徴を持つ「あおさん」については今後の普及活動が重要です。多くの農業者に栽培してもらえよう県やJAと連携しながら啓発していきます。

質問③

近年エネルギーの問題が課題になる中、湯浅の東側に産業廃棄物型バイオマス発電所の設置計画が進められている。建築廃材や古置剪定枝を燃料にするという事で、事前説明の折には、区として反対表明をしています。現状と計画は。

答弁（住民生活課長）

令和3年5月、区役員に地元説明を実施後、話し合いは進んでいません。この間事業者は、産業廃棄物許可が必要なため、県に産業廃棄物許可申請書等に係る事前調査書を提出し、協議を

行っています。

同時に生活環境影響調査も実施しています。廃棄物系の本質を主燃料としたバイオマス発電事業で発電規模は、1990kwで約3520世帯分の年間使用電力分を発電する計画で運転開始時期は未定です。

再質問

地元が反対を表明したにもかかわらず、計画が進められているのは不安。小学校や人家に近く、環境が心配。CO₂排出量も多く、化学物質の混入、熱、音、交通、火災、大量に要るであろう水や風評被害の問題もあります。山田地区だけの問題ではなく、町としての考えを。

答弁（副町長）

安全安心のまちづくりに向け、要望にしっかりと耳を傾け町としての責務を示したいと考えています。

質問④

今回の豪雨は昭和23年以来的災害で、河川の氾濫、家屋への浸水、水路や護岸の崩壊等各地で多く発生しました。被害状況や被害復旧の課題についてお聞きしたい。

答弁（産業建設課長）

今回の豪雨による農地等の災害は甚大で、過去にない大きな災害と言えます。農業者の営農意欲の低下や離農につながるような早急に復旧することが一番の課題であり、できる限り迅速に対応していきたいと考えています。

要望

農地の復旧とともに園内道、モノレール、スプリングラーの設備等の災害支援を要望し、一刻も早く災害復旧に取り組んで頂きたい。





松本 光成 議員

①人口減少（少子化対策）問題について ②イノシシ対策について

質問①

国では、今年初め岸田首相が異次元の少子化対策に挑戦し、大胆に検討を進めると表明され、30年後の2053年には1億人を割込む見込みとの報道がありました。

町の人口は、今年5月約1万1,100人で、このまま進めばコンパクトシティが消滅していくという強い危機感を抱いています。

まず、人口減少対策の取組状況と人口目標数があればお聞きしたい。

答弁（町長）

長期総合計画において人口1万人維持を目標に、段階を踏んだ人口減少対策に取り組んでおり、18歳までの医療費助成、定住促進奨励金の創設、小中学校の給食費の無料化など、様々な取り組みをやっています。また今年度から新婚世帯の新生活支援をサポートする結婚新生活支援事

業補助金の創設、出産祝い金の大幅な拡充を実施し、支援施策を取りまとめたPR冊子も発行しております。

再質問

少子化対策は、官民一体となり本気で取り組まなければならぬ最重要課題であり町長の考えは。

答弁（町長）

町内の一部企業では、既に取組が実施されています。町の支援施策について町民・民間企業・関係団体に理解をして頂くようPRに取り組んでいきたいと思えます。

質問②

有害獣のイノシシによる農作物の被害は、農家の人たちに与えるのは死活問題であり、日々汗水流して丹念に育て上げた農作物が荒らされる事に対し、大変悔しい思いをしています。

まず、被害の状況と今日までの対策についてお聞きしたい。

答弁（産業建設課長）

約35haの農地に、みかん等の果実が食べられる被害や石積が崩される被害が報告されています。

捕獲状況は、令和4年度で170頭、豚熱の影響もあり一時減少はしていましたが、現在町内全ての地区において、増加傾向にあります。対策としては、

捕獲に対する報償や地区鳥獣害組合へのイノシシ檻の管理委託、湯浅鳥獣被害対策実施隊の鳥獣害見回り調査、防護柵等設置支援事業、狩猟免許取得時の取得費用支援など様々な施策を実施しています。

再質問

イノシシの増加傾向について、今後の対策は。

答弁（産業建設課長）

防護柵設置は進んでいますが、捕獲対策は狩猟者の減少や高齢化、報酬費等により、捕獲が進まない状態が課題となっています。和歌山県・狩猟者・専門家の意見を聞きながらより一層研究し、対策を実施していきたいと考えています。

要望

早急に県と共に取り組んで頂き、対策を実施するよう強く要望します。



出産祝いプレゼント紀州材オリジナル時計



捕獲されたイノシシ



議長杯 ゲートボール大会を開催

7月21日（金）第39回議長杯ゲートボール大会がなぎの里ゲートボール場で開催され、議会から8名の議員が参加しました。



優勝 ゆあさチーム



準優勝 栖原Bチーム



第3位 北栄Aチーム



議会の傍聴にお越しく下さい 次回の定例会は9月開催です。

議会は公開されていますので、個人でも団体でも自由に傍聴することができます。ぜひ傍聴にお越しく下さい。



編集後記

5月臨時会において、議会構成が新たなものとなりました。新たにこの5名で議会広報編集常任委員会を精一杯務めて参りますのでよろしくお願いたします。（委員一同）



議会広報編集常任委員会

- 委員 長 久澄 顕人
- 副委員長 赤井 洋子
- 委員 山本 年哲
- 委員 三ツ橋 忠男
- 委員 由良 祥治

